

\* この書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。  
\* この書面は相手方から閲覧又は謄写（コピー）の申請があれば許可されることがあります。

令和 年(家イ)第 号 (被相続人： )  
(家)

令和 年 月 日

氏名（申立人） \_\_\_\_\_ 印

## 事 情 説 明 書

今回、あなたが申し立てられた遺産分割事件について、今後の手続の参考としますので、下記の事項について回答の上、提出してください（スペースが不足し、追加して記載する場合には、A4判の用紙を使用して末尾に添付してください。）。

### 記

#### 1 被相続人（亡くなった方）の職業は何でしたか。

- 職業は（ ）で、年収は約\_\_\_\_\_万円だった。  
 死亡時点では無職（ 年金受給）だったが、元の職業は（ ）で、約\_\_年勤めていた。  
 職歴は（ ほとんど）ない。  
 まったくわからない。

#### 2 被相続人は亡くなられるときに、誰と生活をしていましたか。

- 次の人と生活をしていた。  
（氏名： ）
- 平成・令和 年 月ころから施設(病院)に入所(院)するまでは、次の人と生活をしていた。  
〔入所施設： 〕（氏名： ）
- 1人暮らしだった。

#### 3 被相続人の遺言書はありますか。

- ある。  
(1) 誰が保管していますか。
- (2) 遺言書検認手続は終了していますか。  
 終了している。（ 家庭裁判所 支部。検認期日： . . ）  
 未了  
 公正証書遺言なので、検認手続をしていない。
- あるかどうかわからない。
- ない。

- \* この書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
- \* この書面は相手方から閲覧又は謄写（コピー）の申請があれば許可されることがあります。

4 被相続人の遺産は、申立書に記載した遺産目録に記載したとおりですか。

記載したとおり（→不動産登記の全部事項証明書，固定資産評価証明書，預貯金通帳 or 残高証明書などの資料を提出してください。）

申立書に記載した遺産目録以外に遺産があると思われる。

（財産の標目）

（評価額）

\_\_\_\_\_ 約 万円

\_\_\_\_\_ 約 万円

\_\_\_\_\_ 約 万円

（把握している人）

遺産目録のうち次の物が遺産ではないと主張している人がいる。

（主張している人： \_\_\_\_\_ ）

（番号： \_\_\_\_\_ 理由： \_\_\_\_\_ ）

（番号： \_\_\_\_\_ 理由： \_\_\_\_\_ ）

5 被相続人に負債はありましたか。

ない。

ある。（総額約 \_\_\_\_\_ 万円）

わからない。

6 相続人の中で、被相続人から生前に財産を分けてもらった人がいますか。

（例えば、結婚の際の費用や持参金，事業資金，特別な学費等）

もらった人はいない。

よくわからない。

次の人がもらっている。

（もらった人がいる場合，その人の氏名ともらった財産を具体的に記載してください。できればその時期も記載してください。）

7 被相続人の生存中，長年にわたり無償で事業に従事したり収入の大部分を家計に入れるなど，相続財産の維持又は増加等のために親族として通常期待されている協力・扶助を超えた特別の貢献（寄与）をした相続人はいますか。

いない。

次の人がいる。

（その人の氏名，貢献の時期，態様，程度をできるだけ具体的に記載してください。）



\* この書面は、調停等の準備手続のための連絡表です。他の当事者にお見せすることは  
ありません。

令和 年(家イ)第 号

(被相続人： )

令和 年 月 日

氏名 (申立人) \_\_\_\_\_ 印

### 進行に関する連絡表 (申立人用)

この書面は、調停等を円滑に進めるために参考とするものです。下記の事項に回答の上、  
ご提出ください。

#### 記

1 本件を申し立てる前に、遺産分割について相続人間で協議をしたことはありますか。

協議していない。

(理由)

協議をした。

(1) いつごろ、何回くらい協議しましたか。

平成・令和 年 月 ~ 平成・令和 年 月

回くらい

(2) 協議方法はどのようなものでしたか。

法事等の機会に、相続人全員で協議した。

全員で集まって協議したことはなく、電話等で話をした。

電話等でも話をしたことはなく、遺産分割協議書の案を作成して署名・押印  
を求めた(求められた)だけである(→その書類のコピーを提出してください。)

その他

(3) 協議が成立しなかったのはどうしてですか。

遺産の範囲

分割方法

その他

(4) 協議の際に、弁護士が代理人となっていましたか。

弁護士は関与していなかった。

( ) の代理人として \_\_\_\_\_ 弁護士

2 相続人の中に①行方不明の人、②判断能力に問題がある人、③病気等で調停期日に出席  
できそうにない人などいますか。

いない。

いる。

(氏名： , 理由 )

\* この書面は、調停等の準備手続のための連絡表です。他の当事者にお見せすることは  
ありません。

わからない。

3 相手方は、あなたが本件の申立をすることを知っていますか。

知っている。

知らない。

すぐに知らせる。

自分からは知らせにくい。

4 相手方は、裁判所の呼出しに応じるとお考えですか。

応じらると思う。

応じないと思う。

(氏名： ， 理由等 )

分からない。

5 第1回期日の開始時に、相手方と同席で説明を受けることについて、どうお考えですか。

問題ないと思う。

難しいと思う。

(理由)

6 裁判所に配慮を求めることがありますか (体調面、暴力等)

令和 年(家 )第 号

## 送達場所の届出書

令和 年 月 日

氏名： \_\_\_\_\_ (印)

### 【1】送達場所（裁判所からの郵便物を受け取る場所）

- 申立書記載の住所  
 申立書記載の住所以外の場所

(〒 - )

( \_\_\_\_\_ 様方)

現住所  就業場所  その他 ( \_\_\_\_\_ )

※送達受取人があれば氏名を書いてください。送達受取人 \_\_\_\_\_

### 【2】連絡先電話番号

優先順位 1： \_\_\_\_\_ (  携帯  自宅  勤務先 )

留守時の伝言方法 (いずれかにチェックしてください。)

- 裁判所と名のって伝言して差し支えない。  
 裁判所と名のらないで、担当者名と裁判所の電話番号を伝言してほしい。  
 裁判所の電話番号は伝言しないで、担当者名のみ伝言してほしい。

優先順位 2： \_\_\_\_\_ (  携帯  自宅  勤務先 )

留守時の伝言方法 (いずれかにチェックしてください。)

- 裁判所と名のって伝言して差し支えない。  
 裁判所と名のらないで、担当者名と裁判所の電話番号を伝言してほしい。  
 裁判所の電話番号は伝言しないで、担当者名のみ伝言してほしい。

- 上記記載内容に変更があった場合には、必ず裁判所に届け出てください。  
●転居した場合等でも、変更の届け出がなければ、従前の届出場所等に宛てて文書を発送します。

#### 非開示希望申出について

この書面の記載内容について非開示を希望する場合には、その部分をマーカー等で明示した上で、非開示希望申出書を作成し、ホチキス等でとめて、提出してください。

## 非開示希望申出書

★非開示を希望しても、裁判官の判断により開示される場合があります。

### 【1】別添の書類について、非開示とすることを希望します。

（次のいずれかにチェックを入れてください。）

- 一部（マーカーで色付けした部分）  全部

### 【2】理由は、以下のとおりです（いずれかにチェックを入れてください。）。

- 相手から暴力を受けたため避難している。（ 保護命令発令あり）  
（※保護命令が発布されていない場合は、次欄に暴力の日時や状況を詳しく書いてください。）

- 次のような事情がある。（※ 下記ア～エのいずれかに○を付けてください。）

ア 子供（未成年者）の利益が害されるおそれがある。

イ 自分や第三者の私生活や仕事の平穩を害されるおそれがある。

ウ 自分や第三者の私生活上の重大な秘密が明らかにされることで、社会生活を営むのに著しい支障を生じたり、名誉を著しく害されるおそれがある。

エ 相手に開示することを不適當とする特別の事由がある。

（※ 以下に事情を具体的に記載してください。）

---

---

---

---

---

---

---

---

令和 年 月 日

申立人 /  相手方 氏名： \_\_\_\_\_ 印

### 非開示を希望する書面の提出の仕方と注意点

- この申出書は、非開示を希望する書面ごとに作成しなければなりません。
- この申出書の直後に非開示を希望する書面をホチキスなどで留めて提出してください。